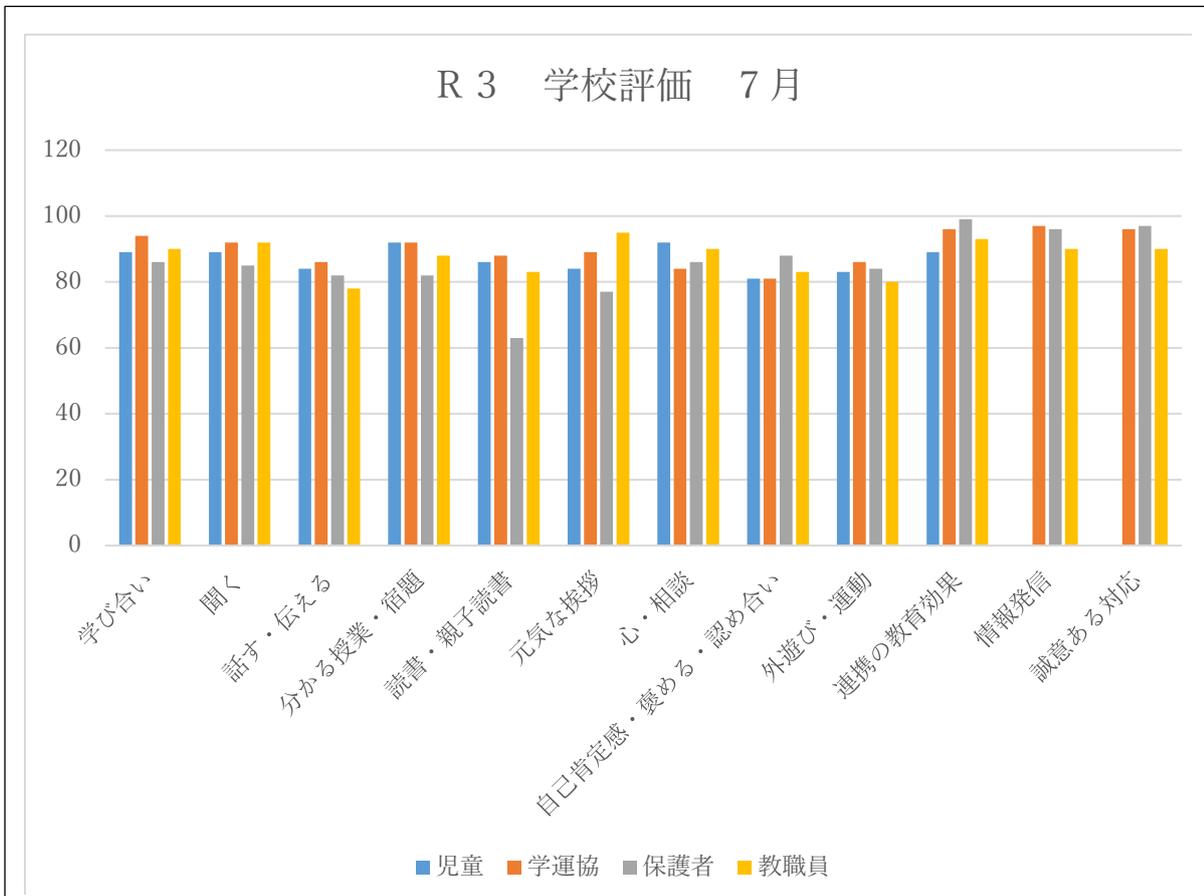
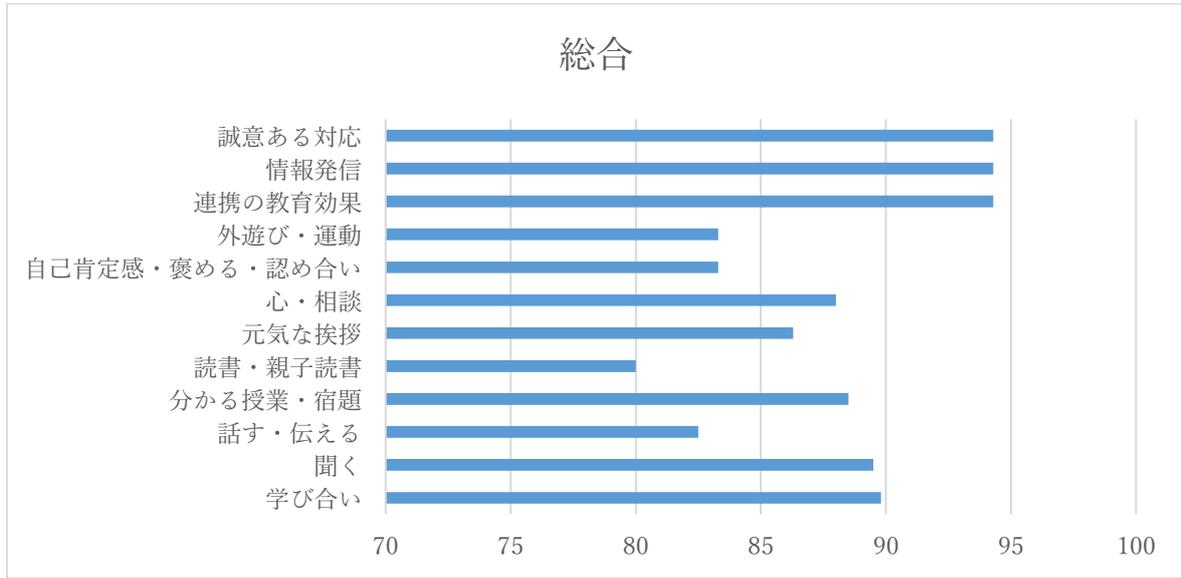


R 3 学校評価 7月 結果



・児童で高評価だったのは、4 友達と学び合う（話し合う）ことで、勉強がよく分かる。

7 困ったとき、周りに話を聞いてくれる人がいる。であった。やや低かったのは、8 自分には良いところがあり、人の役に立っている。9 進んで外に出たり、運動したりしている。であった。周囲の人に感謝しながらも自分に厳しい面が見られる。

・学校運営協議会委員で高評価だったのは、11 学校は、地域や家庭に必要なお知らせ・情報を迅速にわかりやすく伝えている。10 学校は、地域や保護者連携で教育効果を高めている。12 学校は、電話、来校時に誠意をもって対応している。といった地域連携項目で有り、やや低かったのは、8 学校・家庭ではお子さんの頑張りを認め、褒めている。7 地域では、子供達と話をする機会がありますか。といった項目で、コロナ禍で有り、実際に触れ合う機会が制限されていたため、評価しづらかったことも考えられる。

・保護者で高評価だったのは、10 学校は、地域や保護者連携で教育効果を高めている。12 学校は、電話、来校時に誠意をもって対応している。といった地域連携項目で有り、やや低かったのは、5 お子さんは、家庭で進んで読書（親子読書含む）をしている。6 お子さんは、自分から進んで「元気な挨拶」をしている。で、特に家庭での読書の評価が低かった。アウトメディア週間の取組を引き続き行い、読書活動の充実を家庭にも広めていく必要がある。

・教職員で高評価だったのは、6 児童は自分から進んで「元気な挨拶」をしている。10 学校は、地域や保護者連携で教育効果を高めている。であり、やや低かったのは、3 児童は、相手を意識して、自分の思いや考えを伝えている。9 児童は、進んで外で遊んだり、運動したりしている。の項目であった。コロナ禍で、マスクをしていることにより、表出することの制限が影響していると思われる。相手を意識しての表現は、校内研修でもテーマとして取り上げているので研修を深めたい。

全体的に高い評価だったのは、学校地域家庭連携により教育効果を高めている ということである。これまでの地域の方の教育活動への継続的な参画が有意義であることを如実に表しているといえる。

問6については、教職員は高いが、保護者は低かった。学校では、元気な挨拶をしているが、家庭では、元気な挨拶ができているとはいえないといった結果である。家庭では、馴れ合いや甘えがあるのも事実であろうし、挨拶をしても返ってくることがなければ行為は強化されないものである。保護者への啓発もしっかり考えていく必要がある。

問7については、児童は高いが学校運営協議会は低かった。児童は、困ったときに家族や先生、友達には相談するが、地域では、子供達と話す機会が少ないと感じておられる。地域と児童の触れ合う場の設定をコロナ禍の状況を見ながら設定していく必要がある。